

【受講生募集概要】

- 講座期間：4月26日～7月25日の間7日間
- 講座内容：裏面の日程、カリキュラムを参照。
- 募集人員：40名（申し込み順）
- 申込資格：立川市並びに周辺市在住、在勤、在学などで全7回講座を通して受講できる方
- 受講料：4,000円(含、消防普通救命受講料)
- 納入方法：第一回講座開催日に納入願います。

【申込方法】

- 受付開始 平成27年3月16日午前10時から
- 同締切日 4月10日（金）午後5時
- 申込方法 電話のみ042（529）8323
市民活動センターたちかわ（扱い）
立川市災害ボランティアネットあて
- 申込時に住所、氏名、性別、生年月日、電話番号をお聞きします。保険加入のために必要な事項です。必ずお答えください。

お問い合わせ
市民活動センター 042-529-8323
立川市災害ボランティアネット 代表
矢野 和孝
携帯 080-5001-6219

第Ⅳ期講座の特徴

- ・本講座は防災・減災啓発の人材育成を目的としています。
- ・平日の昼間の発災の場合、地域に居るのは女性が大半です。女性も防災のノウハウを身に着けることが大切です。今期は特に、女性が参加しやすい日程にしました。
- ・修了生を対象に、災害時ボラ・セン要員の人材育成にも努めます。
- ・災害に市境は存在しません。近隣市の皆さんの受講を歓迎します。

主催：立川市災害ボランティアネット（立災ボ）

共催：立川市

社会福祉法人 立川市社会福祉協議会

社会福祉法人 幹福社会

後援：立川市自治会連合会 立川商工会議所

協賛：小室ホールディングス株式会社

株式会社 消防弘済会

本講座は、受講料、立災ボ並びに幹福社会の出資金、小室ホールディングス 消防弘済会の協賛金などで運営されます。

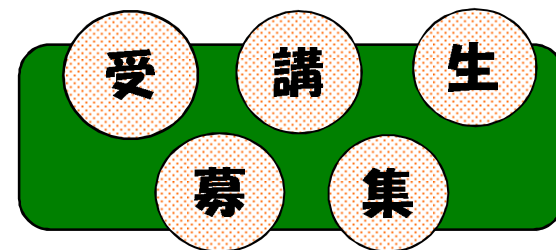
この講座は「平成27年度 東京都ボランティア市民活動センターの「ゆめ応援ファンド助成金」を申請中です。

全講座修了者には修了証を発行いたします。

立川市災害ボ
会員も募集しています
ボランティアセンター

災害ボランティアリーダー 養成講座

第Ⅳ期



養成講座基調講演

首都直下地震に 立川でどう備える？

講師：明治大学特任教授
（東京都防災会議地震部会副部会長）
中林 一樹氏
日時：4月26日（日）午後1時～
会場：立川市こども未来センター

平成24年4月、東京都は、首都直下地震の新たな被害想定を発表した。東京湾北部地震、多摩直下地震、立川断層帯地震、M8クラスの関東大地震の発生の切迫性を指摘。これを受けて、立川市においても防災計画の見直し作業に入り、市民の声を反映すべく「市民会議」がつけられた。中林先生は、東京都防災会議地震部会、中央防災会議委員の経験を請われてこの市民会議委員長を務められた。

第1回 4月26日(日)午後1時～午後5時
会場 立川市子ども未来センター

基調講演

①首都直下地震の立川での被害想定と備え
明治大学特任教授 中林一樹氏
東京都防災会議地震部会副会長、国の中央
防災会議委員とし伝えたいことを聞いて、イメ
ージを定めてその先の受講に備えて頂きます。

②立川市の災害対策基本施策
立川市市民生活部防災課長
では、行政は何ができるのか、どう対策されて
いるのか率直にお話し頂きます。

第4回 6月13日(土)午後1時～5時
会場 東京消防庁立川消防署体育館
普通救命技能資格講習

消防協会・東京防災救急協会
心肺蘇生やAED、異物除去、止血法など日常
生活、災害現場で活かせる救急技能を学びま
す。

第5回 6月27日(土)午後1時～午後5時
会場 立川市総合福祉センター視聴覚室他

災害時のスタートトリアージを学ぶ
NPO法人 危機管理対策機構 事務局長
細坪 信二氏
助かる命を救うために！たくさんのけが人が発
生します。医師、救急隊員がいない時、救護所
に運ぶのは市民、重症の傷病者から運ぶこと
が大切です。では、搬送する順番を見分ける
目ある？
スタートトリアージ(選別)を学びましょう。

第2回 5月16日(土)午後1時～午後5時
会場 立川市女性総合センター第3学習室

災害のイメージでまちを歩こう

立川市災害ボランティアネット 代表 矢野和孝氏

「防災まち歩き」 防災・減災対策に不可欠なこ
とは、災害のイメージをしっかり持って、正しく知
り、正しく恐れることとされています。

私達のまちが、大災害が起きた時、どのように
変わってしまうのか、その時安全なところ、危険
なもの、役に立つものはなにかを見つけて歩
きます。

会場に戻って、気づいたことを地図に落して、
みんなで話し合います。

第6回 7月11日(土)午後1時～午後5時
会場 立川市総合福祉センター視聴覚室

ボランティアセンター立ち上げ体験

公益社団法人シャンティー国際ボランティア会
気仙沼事務所代表 白鳥 孝太氏

災害現場にはたくさんのボランティアが集まりま
す。被災者の求める支援とボランティアを結ぶの
が「ボランティアセンター」です。ボラ・センが立ち
上がらなければ被災者のニーズに応えた支援も
駆けつけたボランティアの力も活かせません。
「ボラ・センに詰める人」「ボラ・センに被災者ニ
ーズを伝える人」、真に、被災者に寄り添う支援を
するためには、地元精通した人材が必要です。

立川市社会福祉協議会は

立川市防災計画でボランティアセンター運営の
所管組織です。災害現場で常駐経験のある社
協職員と共に地元主体のボラセン運営を学びま
す。

第3回 5月30日(土)午後1時～午後5時
会場 立川市立六中(予定)

防災倉庫に何が入っている の？

立川市防災課職員、立災ボ事務局

小・中学校は避難所に指定されていますが、そ
こに防災倉庫が設置されていることをご存知で
すか。何が入っていて、どのように使うかご存知
ですか。中に入っているものをチェックして、簡
易トイレ、炊き出し釜、発動機、リヤカーなど
実際に組み立ててみましょう。

第7回 7月25日(土)午後1時～午後5時30分
会場 立川市総合福祉センター視聴覚室

要援護者を守る、講座のまとめ

- ①災害時要援護者の疑似体験
- ②災害時に要援護者にどう向き合うか

社会福祉法人 幹福社会
大里 宣之氏
(社会福祉士、防災士)

まず障がい者の身になってみましょう。次に障
がい者の介助・搬送の方法を学びます。災害現
場での対応について話を聞かせていただきます。

- ③立川市災害ボランティアネット
事務局長 福島 正人
立川市に想定される災害を知り、学んだものを
どう活かすか、今後の活動に期待することを聞
いて頂きます。
- ③振り返りのグループディスカッションを行いま
す